

★コンポスト Q&A

Q:臭いが出たときはどうすればよいのですか？

A:両手に1～2杯の土をかけたり、枯葉、雑草などを投入してください。また、その他にもみがら、おがくず、米ぬか、わらなども有効です。これらはよい堆肥を作るためにも大切なことです。それでも気になるときは、市販の発酵促進剤を使用してみてください。

Q:小バエやウジが湧いたときはどうすればよいのですか？

A:臭いが出たときと同じような方法を取り、一時生ごみの投入をストップしてください。特に夏は、発生しやすいので、その時期だけ魚や肉の投入を控えめにするのもよいでしょう。

Q:生ごみが投入口までいっぱいになったらどうすればよいのですか？

A:棒などで崩してみるとまだ入ります。満杯になったら移設する(※下記)か、コンポスト容器をもう1個用意して、交互に使用するのが便利です。

※移設の方法は、まず

- ①移設の場所を決めます。場所を決めたら移設の準備のため、移設場所に穴を掘ります。
- ②コンポスト容器を引き抜き、移設場所に設置します。
- ③引き抜いた古い容器の生ゴミの山のうち、上の部分はまだ堆肥になっていないので、堆肥になっている下の部分を残して、新しいコンポスト容器に、再投入します。(黒っぽくなっていれば堆肥になっています。)

堆肥になっているものは、すぐ利用しても構いませんし、後で利用したいときは、移設場所から掘り起こした土を堆肥の上にかぶせて、必要なときに、必要なだけ使ってください。土の代わりに黒いごみ用のポリ袋をかぶせても構いません。

Q:発酵促進剤、防虫・殺虫剤の種類を教えてください。

A:発酵促進剤としては、「コンポスト無臭元」「コンポスターメイト」「ニュークサミノン」等があります。害虫駆除剤としては、「パラコンポ」「コンポパウダー」等があります

★EMボカシQ&A

Q、生ゴミが有機肥料として出来上がったかはどうやって判断するのですか？

A、ぬか漬けのような酸味のある匂いがしたら成功です。容器が一杯になったら、そのまま空気が入らない状態で放置(熟成)し、7～10日くらいで生ゴミ堆肥の出来上がりです。

Q、EM生ゴミ堆肥は色も形もあまり変化しないんだけど、失敗ですか？

A、密閉容器の中でできたEM生ゴミ堆肥は、そのままでは期間をおいても色や形があまり変わりません。土の中に入れよく混ぜてやれば、急速に発酵分解が進み、土になります。

うまいくためのチェックリスト♪

【コンポスト容器】

- コンポスト容器は、日当たり・水はけ・風通しのよいところに設置します。天気のよい日には、フタを開けて、風と太陽の光をいれましょう(入り口に布をかぶせるなどして虫の侵入に注意してください)。
- 水分は良く切ってから入れましょう。特に水分が多いもの(メロンなど果物の皮)は刻んでから、魚のハラワタなどは米ぬかをまぶしてから入れると虫がわきにくくなります。

【EMボカシ容器】

容器のチェック

- フタをちゃんと閉めている。
 - ごみの量に対して適当な大きさの容器を使っている。
 - 容器を空にした後、いつも洗ってから次ぎの生ゴミを入れている。
- 空気になるべく触れないようにするために、フタはしっかり閉めるようにします。容器の中がスカスカだとその分生ゴミが常に空気に触れていることになるので、出るゴミの量に合わせて、必要以上に大きな容器は使わない方がいいでしょう。

生ゴミを入れる時のチェック

- バケツに初めて生ゴミを入れる時に、EMボカシをバケツの底に敷いている。
 - 生ゴミの上に、中ブタかビニールを置いている。
 - 最後に手で押さえて空気を抜いている。
 - メロンの皮など大きな物は細かく切っている。
 - ゴミは新鮮なうちに入れている。
 - 腐ったものは入れない。
 - 水はよく切っている。
- 三角コーナーを使っている人は、なるべく水がかからないような位置に置くことが大切です。

発酵液(液肥)のチェック ←(容器に蛇口が付いているタイプをお使いの方のみ)

- 発酵液はマメに抜いている。
 - 発酵液は残さないで抜くようにしている。
- 発酵液は不安定で腐りやすいので、こまめに抜きましょう。

EMボカシのチェック

- EMボカシの量は気持ち多めに入れている。
- ボカシの量が少ないと失敗します。まんべんなく、和えるようにして、混ぜると良いでしょう。その際に素手でするのが気になる人は、使い古しのシャモジなどを使いましょう。
- EMボカシを買ってから 6ヶ月以上たっていない。
 - EMボカシにカビが生えていない。